

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年4月28日～2018年5月4日の推移】

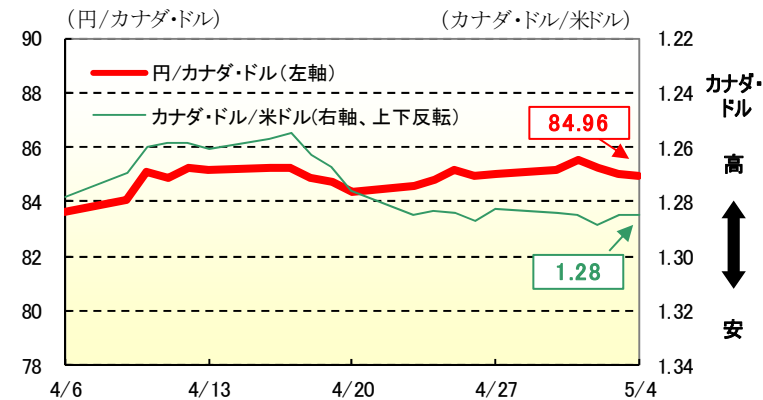
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円はほぼ横ばいに推移し、カナダ5年国債利回りは小幅に上昇しました。

先週は、カナダで月次GDP(国内総生産)が発表され、市場予想を上回る堅調な結果となったことや、カナダ銀行のボロズ総裁が講演で、いずれ金融緩和策の解除が必要になることへの自信を深めていると述べたことなどが、カナダの金利やカナダ・ドルの上昇圧力となりました。

また、米国で政策金利が発表され、市場の予想通り据え置きとなりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年4月6日～2018年5月4日)



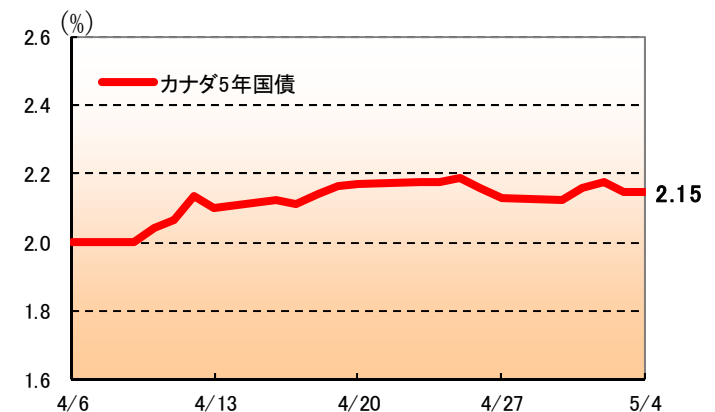
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダでは雇用統計、米国ではCPI(消費者物価指数)の発表があります。カナダや米国の経済指標が堅調な結果となり、市場の利上げ期待を高めることとなれば、カナダの金利やカナダ・ドルの上昇圧力になるとみえています。

また、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉について、米国、カナダ、メキシコの3カ国の閣僚による会合が今週行われる予定であり、何らかの進展があるか市場の注目が集まっています。

【カナダ 金利推移】 (2018年4月6日～2018年5月4日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>